

20102

カテ Ns の気持ち ～カテ室新人 Ns 研修より～

当院は心臓センター内に循環器病棟と心臓カテーテル室が併設されており、年間約 4500 件のカテーテル検査・治療が行われている。カテ室に勤務する看護師は病棟業務も行っておりカテ室専属ではない。現在 11 名の看護師がカテ室に勤務しておりそのうち 6 名が研修中の看護師である。新人 Ns が指導者(先輩 Ns)とカテ室勤務に対する思いなどを直接話す機会が少ないため新人 Ns がどのような思いや不安があるのかを明らかにすることで今後のカテ室新人 Ns への教育にいかすことができると考えアンケート調査をおこなった。対象:カテ室研修中の看護師 6 名(3 年目 2 名、4 年目 2 名、既卒経験者 2 名)結果:3.4 年目の看護師は検査結果や冠動脈の見方、デバイスの種類についての知識に自信がなくわからない。患者への声掛けのタイミングが難しいと思っているのは既卒の看護師だけだった。カテ室のいいところとして、解剖や病態生理を改めて学習できること、今までに経験できなかったことや新しい知識が習得できていると感じている。しかし、どの年代の看護師も分からないことがある時や自信のないことについては先輩 Ns に聞くことができている。結論:1. 患者さん中心のカテ室看護を学んだり、考えたりする必要がある。2. 年代別に不安に感じるものが異なり、それぞれの不安に応じた指導が必要である。3. 理解できていないことが多く、勉強会が必要である。